

作成日：2010年 5月20日

## 化学物質等安全データシート

### 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称 : アロンブルコートT-300P 硬化剤  
 会社名 : 東亜合成株式会社  
 住 所 : 東京都港区西新橋 1 - 1 4 - 1  
 担 当 部 門 : 機能化学品事業部 建材・土木G  
 電 話 番 号 : 03-3597-7341  
 F A X 番 号 : 03-3597-7353  
 緊急連絡先の電話番号 : 03-3597-7341

推奨用途及び使用上の制限：本物質の主な用途は、塗料である。

本製品は業務用（工業用）です。その他特殊用途に使用される場合には貴社にて事前に安全性をご確認の上、ご使用下さい。体内に本製品の一部分が残留する恐れのある用途には使用しないで下さい。

### 2. 危険有害性の要約

**重要危険有害性及び影響** 危険有害性の分類；GHS分類基準に該当する。

#### 特有の危険有害性

物理的及び化学的危険性：情報なし

人の健康に対する有害性：1) 皮膚および衣類への長期の接触を避けてください。炎症を起こす可能性があります。

2) アレルギー反応により皮膚炎や喘息などを起こす場合があります。

環境汚染性 : 1) 水生生物に有害である。

#### 【GHS分類】

##### 物理化学的危険性

火薬類	: 分類対象外
可燃性・引火性ガス	: 分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	: 分類対象外
支燃性・酸化性ガス	: 分類対象外
高压ガス	: 分類対象外
引火性液体	: 区分外
可燃性固体	: 分類対象外
自己反応性化学品	: 分類対象外
自然発火性液体	: 区分外
自然発火性固体	: 分類対象外
自己発熱性化学品	: 分類できない
水反応可燃性化学品	: 分類対象外
酸化性液体	: 分類対象外
酸化性固体	: 分類対象外
有機過酸化物	: 分類対象外
金属腐食性物質	: 分類できない

## 健康に対する有害性

急性毒性（経口）	: 区分外
急性毒性（経皮）	: 区分外
急性毒性（吸入：ガス）	: 分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	: 区分外
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	: 区分外
皮膚腐食性・刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分2
呼吸器感作性	: 区分1
皮膚感作性	: 区分1
生殖細胞変異原性	: 区分外
発がん性	: 区分外
生殖毒性	: 区分1B
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	: 区分1
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	: 区分2
吸引性呼吸器有害性	: 区分外

## 環境に対する有害性

水生環境急性有害性	: 区分3
水生環境慢性有害性	: 区分3

## 【GHSラベル要素】



注意喚起語



: 危険

## 危険有害性情報

皮膚刺激

重篤な眼への刺激

吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難をおこすおそれ

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

生殖能力または胎児への悪影響のおそれ

血液の障害および呼吸器系の障害のおそれ

長期にわたるまたは反復暴露による肝臓・精巣の障害のおそれ

水生生物に有害

長期的影響により水生生物に有害

## 【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

容器を密閉しておくこと。

保護手袋を着用すること。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

呼吸用保護具を着用すること

過去にアレルギーを経験している人は取り扱わないこと。

取扱い後はよく洗うこと。

環境への放出を避けること。

**【救急処置】**

- 吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。
- 皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹼で洗うこと。
- 衣類にかかった場合、直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと。
- 飲み込んだ場合、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
- 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること。
- 皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。
- 漏出物は回収すること。

**【保管】**

- 容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

**【廃棄】**

- 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国/地域情報 :

**3. 組成及び成分情報**

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
- 化学名又は一般名 : エポキシ系塗材
- 別名 : 情報なし
- 通知対象成分および含有量 : 下表参照

成分名	濃度%	化学式	CASNo.	PRTR指定 化学物質
変性ポリアミドアミン	10~20	—	—	—
酸化チタン(IV)	10~20	TiO <sub>2</sub>	13463-67-7	—
アモルファスシリカ	0.1~1	SiO <sub>2</sub>	60676-86-0	—
酢酸	1~10	C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> O <sub>2</sub>	64-19-7	—
変性脂肪族ポリアミン	1~10	—	—	—
ジエチレントリアミン	0.1	C <sub>4</sub> H <sub>13</sub> N <sub>3</sub>	111-40-0	第1種指定化学物質
ミネラルスピリット	1~10	—	8052-41-3	—
水	45~55	—	—	—

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 : 情報なし

**4. 応急措置**

- 吸入した場合** : 被災者を新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の手当、診断を受けること。気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合** : 汚染された衣類を脱ぐこと。皮膚を速やかに洗浄すること。多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
- 目に入った場合** : 水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合** : 口をすすぐこと。医師の手当、診断を受けること。気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

## 5. 火災時の措置

消火剤： 小火災：水、炭酸ガス、泡、粉末  
 大火災：アルコールフォーム、ウォータースプレーあるいは霧状水を使用すること。

使ってはならない消火剤： 特になし

消火方法： 危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護： 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項： 保護具及び緊急時措置：漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立入りを禁止する。作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。風上に留まる。低地から離れる。密閉された場所に立入る前に換気する。

環境に対する注意事項： 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。環境中に放出してはならない。

回収、中和： 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

封じ込め及び浄化の方法・機材： 危険でなければ漏れを止める。蒸気抑制泡は蒸発濃度を低下させるために用いる。

二次災害の防止策： 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱

技術的対策： 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気： 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行なう。

安全取扱い注意事項： 使用前に取扱説明書を入手すること。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。  
 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。接触、吸入又は飲み込まないこと。眼に入れないこと。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。環境への放出を避けること。

接触回避： 『10. 安定性及び反応性』を参照。

### 保管

技術的対策	: 保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ、適切なためますを設けること。保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設定を設ける。
保管条件	: 酸化剤から離して保管する。容器は直射日光や火気を避けること。容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。施錠して保管すること。
混触危険物質	: 『10. 安定性及び反応性』を参照。
容器包装材料	: 容器の内面がエポキシ塗料もしくはケイ酸亜鉛塗料でコーティングされた軟鋼もしくはステンレス鋼の容器。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 身体に製品が付着した場合に、取扱い場所近くに洗い流すことができる設備を設置する。

暴露限界値 :

	管理濃度	許容濃度(ACGIH)
酸化チタン(IV)	—	TWA : 10mg/m <sup>3</sup>
ミネラルスピリット	—	TWA : 100ppm
ジエチレントリアミン	—	TWA : 1ppm
酢酸	—	TWA : 10ppm

保護具 :

呼吸器の保護具 :  
必要に応じて、送気マスク(エアライン)、有機ガス用防毒マスク

手や胸の保護具 :  
合成ゴム手袋、耐油性ゴム手袋、ポリエチレン手袋

目や顔の保護具 :  
保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)または防災面

足の保護具 :  
合成ゴム靴、対油製靴

皮膚および身体の保護具 :  
保護服。

衛生対策 :  
取扱い後はよく手を洗うこと。口をすすぐこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	: 淡灰色液体 <sup>(1)</sup>
臭い	: わずかアミン臭 <sup>(1)</sup>
pH	: 9.6
融点・凝固点	: データなし
沸点、	: 100℃ <sup>(1)</sup>
引火点	: なし
発火点	: データなし
燃焼又は爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度(空気 = 1)	: データなし

比重（密度）	: 1.3
溶解度	: データなし
オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
臭いのしきい（閾）値	: データなし
蒸発速度（酢酸ブチル = 1）	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性	: 有機物であるため、酸化性物質と接触すると、発火、爆発の危険性がある。
避けるべき条件	: 高温を避ける。
混触危険物質	: 酸化剤。
危険有害な分解生成物	: 燃焼により一酸化炭素などの有害ガスが発生する。

### 11. 有害性情報

皮膚腐食性・皮膚刺激	: 区分1の成分が1%以上であることから区分2とした。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分1の成分が1%以上であることから区分2とした。
呼吸器感作性	: 区分1の成分が1%以上であるため区分1とした。
皮膚感作性	: 区分1の成分が1%以上であるため区分1とした。
生殖毒性	: 区分1Bの成分が0.1%以上であるため区分1Bとした。
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	: 区分1の成分が1%以上であるため区分1とした。
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	: 区分2の成分が10%以上であるため区分2とした。

### 12. 環境影響情報

水生環境急性毒性	: 急性水生毒性区分3の成分と急性水生毒性区分1の成分換算値が25%を超えることから区分3とした。
水生環境慢性有害性	: 慢性水生毒性区分3の成分と慢性水生毒性区分1の成分換算値が25%を超えることから区分3とした。
残留性・分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壌中の移動性	: 情報なし

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

### 14. 輸送上の注意

国際規制	: 情報なし
------	--------

## 国内規制 適用法令を参照

- (陸上輸送) 消防法、労働安全衛生法、劇毒物法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められる運送方法に従うこと。  
 (海上輸送) 船舶安全法の定めるところに従うこと。  
 (航空輸送) 航空法の定めるところに従うこと。

特別の安全対策： 危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。  
 危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。  
 危険物の運搬中、危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。  
 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

応急処置指針番号：

## 15. 適用法令

- 労働安全衛生法：名称等を表示すべき有害物（第57、施行令第18）  
 該当せず  
 名称等を通知すべき有害物（第57の2、施行令第18の2）  
 酸化チタン、アモルファスシリカ、酢酸、ジエチレントリアミン、ミネラルスピリット  
 腐食性液体（第326） 酢酸
- 労働基準局通達：基発第477号 エポキシ硬化剤主成分表示
- 消防法：該当せず
- 化審法：既存化学物質
- 化学物質排出把握管理促進法（PRTTR法）  
 ：ジエチレントリアミン
- 毒劇物取締法：該当しない
- 港則法：該当しない
- 船舶安全法：該当しない
- 航空法：該当しない
- 高圧ガス保安法：該当しない
- 外国為替及び外国貿易法：輸出令別表第1の16項（キャッチオール規制）
- 水質汚濁防止法：施行令第2条の物質に該当しない
- 下水道法：施行令第9条の四の物質に該当しない
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）：産業廃棄物（施行令第2条）
- 土壤汚染対策法：第2条第1項、施行令第1条の特定有害物質に該当しない  
 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律（オゾン層保護法）  
 ：施行令別表の物質に該当しない
- 悪臭防止法：施行令第1条の特定悪臭物質に該当しない

## 16. その他の情報

## 参考文献

- (1) 社内データ 及び原料メーカーのMSDS

## 災害事例

特になし

---

#### 記載内容の取扱い

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の見取り方を対象としたものなので、特殊な見取り方の場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。

以上

---